

決算説明

2025年3月期

2025年5月9日



(注意事項)

本資料に掲載されている田中化学研究所の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しです。これらの情報は現在入手可能な情報から得られた情報にもとづき算出したものであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績等に重大な影響を与えうる重要な要因としては、田中化学研究所の事業領域をとりまく経済情勢、市場における田中化学研究所の製品に対する需要動向、競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場において田中化学研究所が引き続き顧客に受け入れられる製品を提供できる能力、為替レートの変動などがあります。但し、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。



1. 2025年3月期 決算ハイライト
2. 2025年3月期 決算トピックス
3. 製品別販売数量 前期との差異要因
4. 製品別販売数量Q毎推移
5. 主原料国際価格推移（円/kgベース）
6. Northvolt（ノースボルト）社の破産について
7. 営業利益 前期との差異要因
8. 営業外収支および特別損益
9. 比較貸借対照表
10. キャッシュ・フロー計算書
11. 二次電池市場をとりまく環境
12. ビジョン
13. 2026年3月期 業績予想
14. 製品別販売数量予想

付属資料

- 付属1. 業績を見る注意点
- 付属2. 主原料国際価格推移
（\$/LBベース）

1. 2025年3月期 決算ハイライト



金額：百万円	2024年3月期	2025年3月期	増減	増減率
売上高	47,987	36,497	△ 11,490	△ 24%
営業利益	2,771	△ 338	△ 3,109	△ 112%
経常利益	2,782	△ 373	△ 3,156	△ 113%
当期純利益	2,555	△ 257	△ 2,813	△ 110%
EPS（円）	78.57	△ 7.93	△ 86.49	△ 110%
設備投資額	1,422	2,561	+1,139	+80%
減価償却費	2,136	2,126	△ 9	△ 0%

2. 2025年3月期 決算トピックス



➤ 販売数量は前期比 △ 11.7%

- ・ リチウムイオン電池向け △ 22.3% (車載用途 △ 19.6%、民生用途 △ 61.3%)
- ・ ニッケル水素電池向け車載用途 + 14.9%

➤ 主原料相場

- ・ ニッケル相場は横ばいで推移
- ・ コバルト相場は下落基調であったが、足下では急騰
- ・ 相場関連利益 2億円

➤ コスト上昇

- ・ 各原材料、エネルギーはじめ物価高や労務費上昇等の影響でコスト上昇

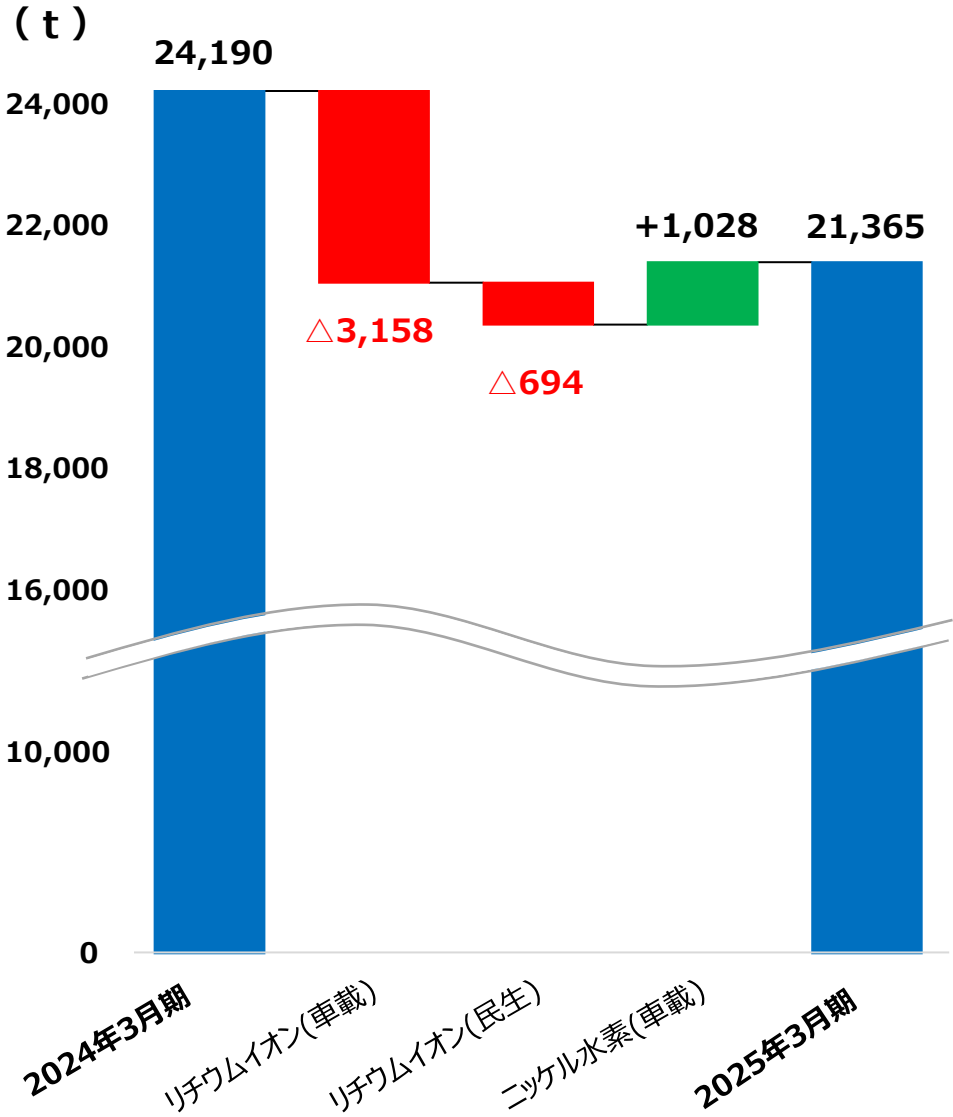
➤ Northvolt (ノースボルト) 社関連

- ・ 2024年6月、前駆体製造技術支援料10億円を収益計上
- ・ 2024年11月21日、米国でChapter11申請
- ・ 2025年3月12日、スウェーデンで破産申請
⇒ 棚卸資産の評価損失を約14億円計上

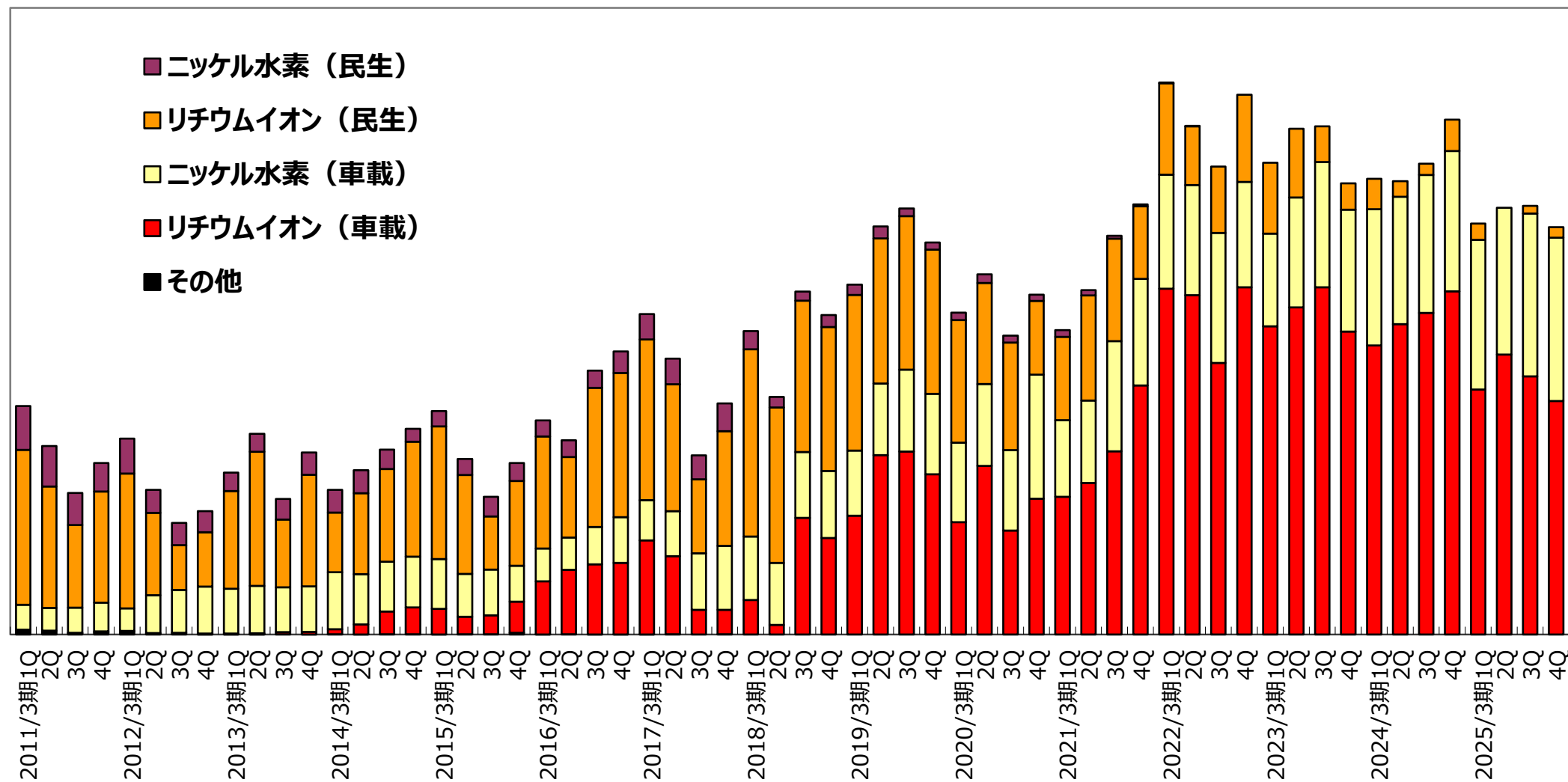
3. 製品別販売数量 前期との差異要因



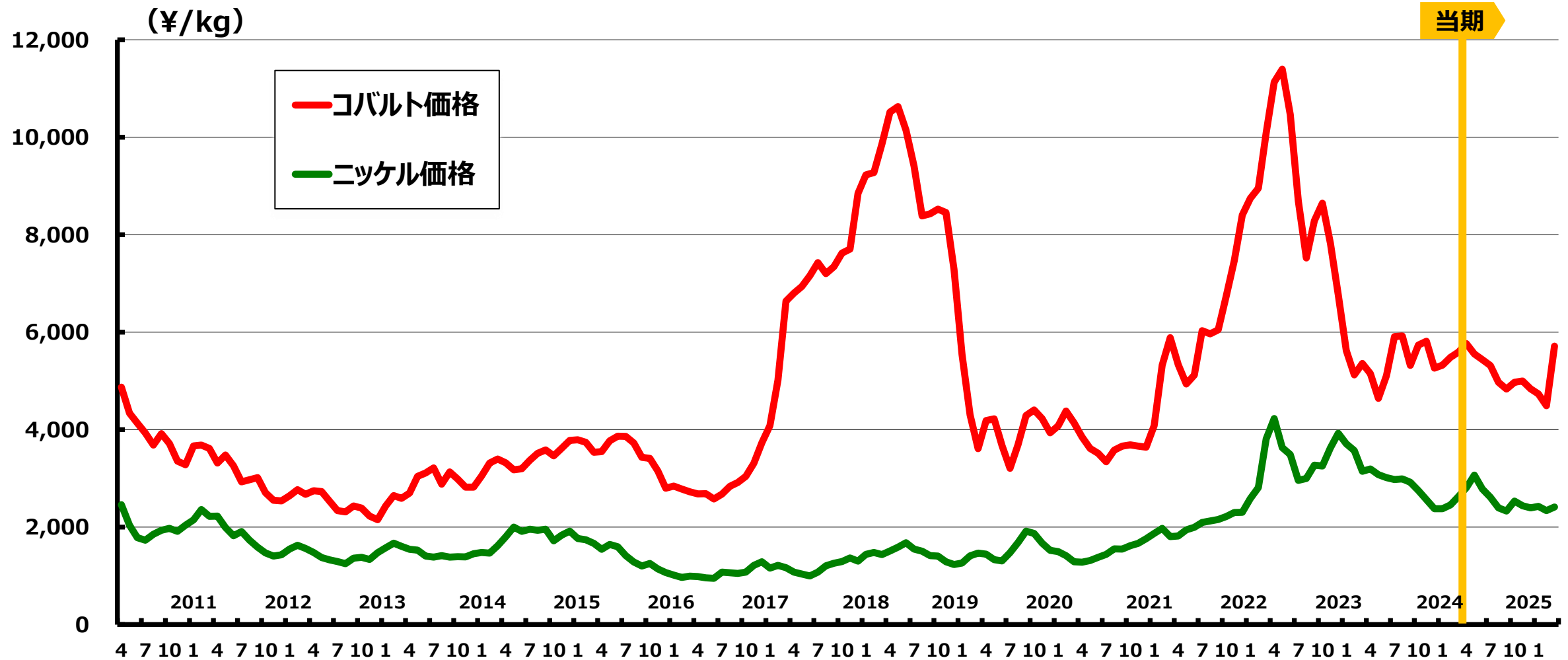
販売量：t		2024年3月期	2025年3月期	増減	増減率
リチウムイオン	車載	16,138	12,980	△ 3,158	△ 19.6%
	民生	1,134	439	△ 694	△ 61.3%
	計	17,272	13,419	△ 3,852	△ 22.3%
ニッケル水素 (車載)		6,918	7,946	+ 1,028	+ 14.9%
合計		24,190	21,365	△ 2,824	△ 11.7%



4. 製品別販売数量Q毎推移



5. 主原料国際価格推移 (¥/kgベース)



6. Northvolt（ノースボルト）社の破産について



➤ Northvolt（ノースボルト）社の破産

2024年11月21日、米国でChapter11申請

⇒再建を目指していたが資金調達の目途が立たず、2025年3月12日にスウェーデンで破産申請

➤ 当社への影響について

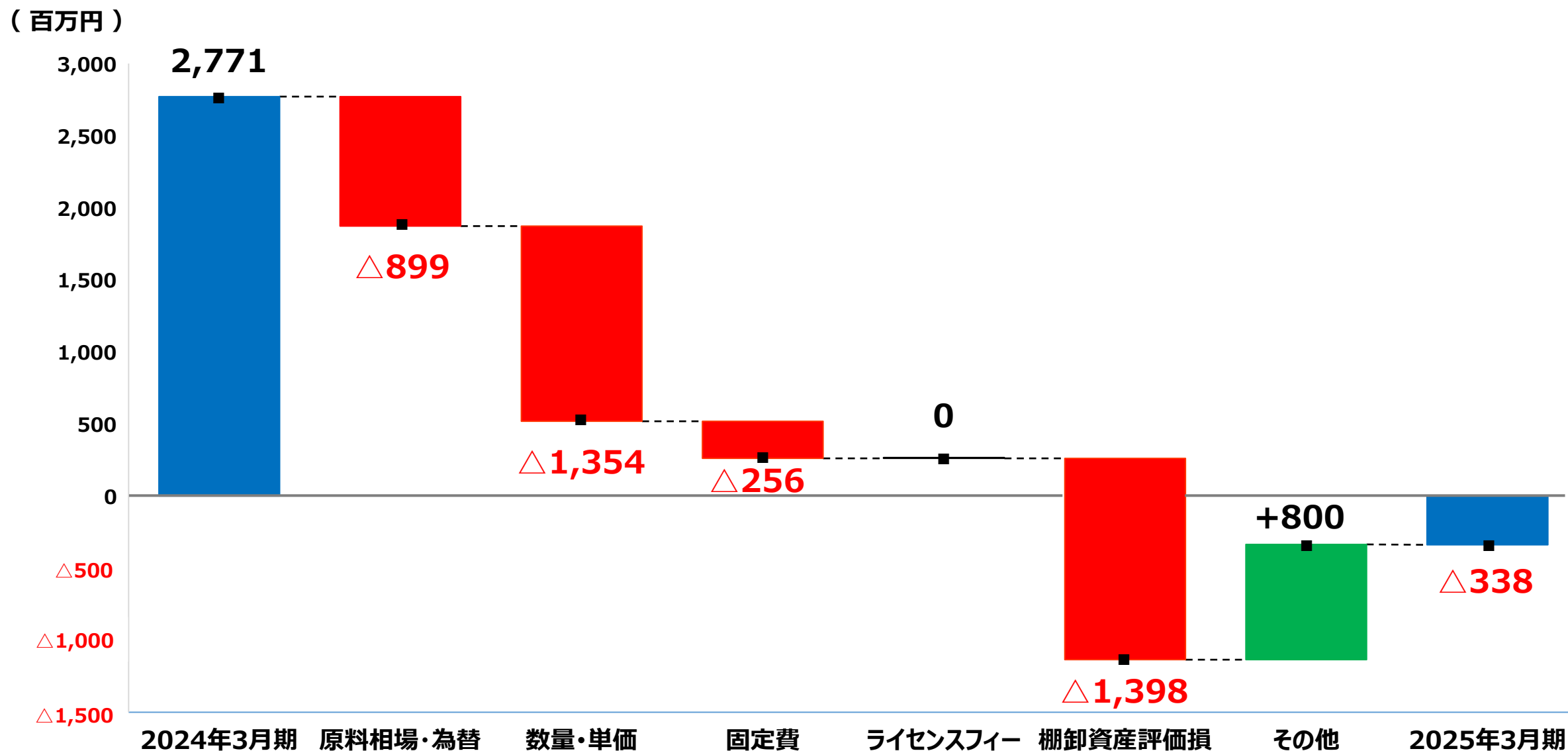
✓ 債権取立不能又は取立遅延のおそれ

- ・ 前駆体製造技術の提供・支援はすでに完了
- ・ 2025年度以降4年間にわたり5億円ずつ、計20億円の技術支援料を回収予定
⇒破産申請により上記債権の取立不能又は遅延のおそれが生じている

✓ 棚卸資産評価損の計上

- ・ 棚卸資産評価損 1,398百万円 計上
⇒ Northvolt社の破産により、同社向けの製品在庫を中心に評価損を計上

7. 営業利益 前期との差異要因



8. 営業外収支および特別損益



金額：百万円	2024年3月期	2025年3月期	増減
営業外収支	11	△ 35	△ 47
金融収支	△ 63	△ 85	△ 22
為替差損益	76	49	△ 27
その他	△ 2	0	+3
経常利益	2,782	△ 373	△ 3,156
特別損益	△ 19	466	+485
税引前当期純利益	2,763	92	△ 2,671
法人税等	207	350	+142
当期純利益	2,555	△ 257	△ 2,813

9. 比較貸借対照表



金額：百万円	2024年3月期	2025年3月期	増減
流動資産	19,294	15,833	△ 3,461
現預金	1,322	1,594	+271
売上債権	5,927	4,884	△ 1,043
棚卸資産	5,954	5,342	△ 612
グループ預け金	6,000	3,300	△ 2,700
その他	89	712	+622
固定資産	18,839	17,209	△ 1,629
有形固定資産	18,339	16,806	△ 1,533
機械装置他	12,969	12,857	△ 112
土地	1,433	1,433	—
建設仮勘定	3,924	2,032	△ 1,891
リース資産	11	482	+471
無形固定資産	7	10	+3
投資等	492	392	△ 100
資産合計	38,134	33,042	△ 5,091

金額：百万円	2024年3月期	2025年3月期	増減
流動負債	13,067	9,244	△ 3,823
仕入債務	7,922	4,910	△ 3,012
借入金	3,000	2,400	△ 600
その他	2,144	1,934	△ 210
固定負債	7,832	6,956	△ 875
借入金	7,800	6,300	△ 1,500
その他	32	656	+624
負債合計	20,899	16,201	△ 4,698
資本金	9,155	9,155	—
資本剰余金	6,662	6,662	—
利益剰余金	1,366	978	△ 387
自己株式	△ 2	△ 2	—
その他	52	47	△ 4
純資産計	17,234	16,841	△ 392
負債純資産合計	38,134	33,042	△ 5,091

10. キャッシュ・フロー計算書



金額：百万円	2024年3月期	2025年3月期	増減
税引前当期純利益	2,763	92	△ 2,671
減価償却費	2,136	2,126	△ 9
運転資本による資金の増減	△ 50	△ 1,356	△ 1,305
その他	△ 1,410	△ 588	+821
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,439	274	△ 3,165
有形固定資産の取得による支出	△ 636	△ 1,697	△ 1,061
その他	99	1,280	+1,180
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 536	△ 416	+119
フリー・キャッシュ・フロー	2,903	△ 142	△ 3,045
短期借入金の純増額	—	△ 600	△ 600
長期借入金の返済による支出	△ 1,500	△ 1,500	—
その他	△ 12	△ 175	△ 163
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,512	△ 2,275	△ 763
現預金等換算差額	125	△ 9	△ 134
現預金等増減額	1,516	△ 2,428	△ 3,944
期末現預金残高	7,322	4,894	△ 2,428

11. 二次電池市場をとりまく環境



EU



- 2019年 欧州グリーンディール発表
⇒ 補助金廃止やインフレの影響もありEV市場の成長鈍化
- ・域内で販売する新車のCO₂排出規制を緩和

中国



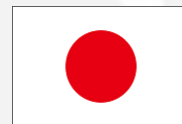
- LFPはじめ独自路線で市場拡大
⇒ 生産能力が過剰であり、メーカーの淘汰が加速
- 各種電池材料の権益を国策で支配しつつある

米国



- 2022年 IRA法成立
⇒ トランプ大統領がEV促進策廃止を明言
- 輸入車に25%の追加関税を発表
⇒ 日本からの輸入車も対象に

日本



- 2035年までに新車を電動車100%に
⇒ EV化に出遅れも、足もとではハイブリッド系が好調
- 2030年までにリチウムイオン電池の国内生産能力を150GWh/年に



13. 2026年3月期 業績予想



金額：百万円	2025年3月期	2026年3月期 予想
売上高	36,497	46,000
営業利益	△ 338	△ 600
経常利益	△ 373	△ 700
当期純利益	△ 257	△ 700
設備投資	2,561	3,200
減価償却費	2,126	2,600
配当金（円）	—	—

※当期末までの期間において、為替相場やニッケル及びコバルトの国際相場が足もとの相場と比較して、大きな変動がないことを前提とする。

14. 製品別販売数量予想



販売量：t		2025年3月期	2026年3月期予想	増減	増減率
リチウムイオン	車載	12,980	20,300	+7,320	+56.4%
	民生	439	100	△339	△77.2%
	計	13,419	20,400	+6,980	+52.0%
ニッケル水素 (車載)		7,946	8,500	+553	+7.0%
合計		21,365	28,900	+7,534	+35.3%



付属資料

付属1. 業績を見る注意点



販売単価

$$\begin{aligned}\text{売上高} &= (\text{主原料国際価格} + \text{加工単価}) \times \text{販売数量} \\ &= (\text{主原料国際価格} \times \text{販売数量}) + (\text{加工単価} \times \text{販売数量})\end{aligned}$$

//
利益に関係なく増減

//
利益の源泉
(加工収入)

1. 販売単価は、原則として主原料国際価格にスライドする。
従って、売上高は主原料国際価格の変動により利益に関係なく上下する。
2. 利益は「加工単価」と「販売数量」の積である加工収入にリンクしている。
3. 「加工単価」は製品の鮮度、技術的な革新性、工程の複雑さなどによる。

付属2. 主原料国際価格推移（\$/lbベース）

